

# 令和3年6月 全国百貨店売上高概況

令和3年7月26日

## I. 概況

1. 売上高総額	3,715億円余
2. 前年同月比（増減率）	-1.6%（店舗数調整後／4か月ぶりマイナス）
3. 調査対象百貨店	73社 191店（令和3年5月対比±0店）
4. 総店舗面積	4,948,261㎡（前年同月比：-4.0%）
5. 総従業員数	57,844人（前年同月比：-6.4%）
6. 3か月移動平均値	11-1月 -18.6%、12-2月 -18.0%、1-3月 -8.9%、 （店舗数調整後） 2-4月 28.6%、3-5月 61.2%、4-6月 44.9%

【参考】令和2年6月の売上高増減率は-19.1%（店舗数調整後）

### 【特徴】

6月の売上高は1.6%減と4か月ぶりにマイナスに転じた。

緊急事態宣言対象地区店舗の土日休業や時短営業等に加え、外出自粛による集客減が響いた。下旬の休業要請解除により回復傾向も見られたが、入店客数（5.0%減）、売上ともに前年には届かなかった。前々年比は、前月（43.1%減）より22.5ポイント改善したものの、20.6%減と依然として厳しい状況にある。なお、今年上半期（1~6月）累計の伸び率は10.3%増、前々年対比では27.3%減となった。

顧客別では、国内市場は2.1%減（4か月ぶり/シェア98.8%/前々年比16.7%減）、インバウンドは68.1%増（4か月連続/シェア1.2%）だが、前々年比では84.0%減と苦境が続いている。

地区別では、前年をクリアした5都市（東京、大阪、京都、神戸、福岡）を含む大都市は0.4%増（10都市/4か月連続/前々年比21.7%減）となった。一方、地方は6.5%減（10都市以外の地区/4か月ぶり/前々年比17.6%減）となり、大都市と地方の差は前月より3.6ポイント拡大した。

商品別では、主要5品目のうち、身のまわり品（0.6%増）、雑貨（3.7%増）、食料品（3.3%増）の3品目で前年実績を上回った。特に、富裕層を中心に高額消費は活発で、ラグジュアリーブランドや、高級時計、美術宝飾品など高額品（美・宝・貴/25.8%増）は増勢が続いている。また、巣ごもり需要から、和洋中惣菜、和洋菓子、ワインなど酒類の他、家電、高級家具などリビングアイテムも好調だった。

コロナ禍にあってEC売上は引き続き高伸しており、中元商戦や父の日などのギフトにおいても、そのシェアは一層拡大している。各社では、デジタル技術を活用した店頭とWEBの融合策や他業種との協業など、業績回復に向けた新たな取組みを積極的に展開している。

### 【要因】

(1) 天候：気象庁発表「6月の天候」の特徴は以下のとおり（一部抜粋）

◇本州付近では晴れた日が多く、また全国的に南から暖かい空気が流れ込んだ時期があったため、全国的に気温は高く、特に北日本ではかなり高かった。降水量は北・西日本と東日本太平洋側で少なく、日照時間は北・東日本と西日本日本海側で多く、特に北日本太平洋側と北日本日本海側ではかなり多かった。

(2) 営業日数増減 29.7日（前年同月比 -0.1日）

(3) 土・日・祝日の合計 8日（ " ±0日）

(4) 入店客数増減（回答店舗数で見る傾向値/前年同月比/有効回答数108店舗）

①増加した：23店、②変化なし：23店、③減少した：62店

(5) 6月歳時記（父の日、中元）の売上（同上/有効回答数81店舗）

①増加した：8店、②変化なし：35店、③減少した：38店

# 全国百貨店 売上高速報 2021年6月

第1表 地区別売上高

※店舗数調整後 ( )が調整前

地 区	売上高(千円)	構成比(%)	対前年増減(-)率 (%) ※
<b>全 国</b>	<b>371,561,459</b>	<b>100.0</b>	<b>-1.6 ( -3.0)</b>
<b>10都市</b>	<b>267,182,200</b>	<b>71.9</b>	<b>0.4 ( 0.1)</b>
札幌	7,981,834	2.1	-14.3
仙台	5,543,178	1.5	-3.1
東京	108,638,465	29.2	3.7
横浜	25,634,376	6.9	-2.4
名古屋	23,338,801	6.3	-6.8
京都	14,996,980	4.0	1.7
大阪	52,788,258	14.2	3.7
神戸	8,245,939	2.2	0.5 ( -10.0)
広島	6,877,538	1.9	-13.9
福岡	13,136,831	3.5	0.3
<b>10都市以外の地区</b>	<b>104,379,259</b>	<b>28.1</b>	<b>-6.5 ( -10.0)</b>
北海道	786,349	0.2	-23.3
東北	4,575,760	1.2	-6.8 ( -14.7)
関東	48,033,972	12.9	-5.8 ( -7.9)
中部	8,151,982	2.2	-2.8 ( -10.4)
近畿	14,788,380	4.0	-6.0 ( -10.7)
中国	7,937,723	2.1	-12.0
四国	5,321,935	1.4	-3.8 ( -19.9)
九州	14,783,158	4.0	-8.2

第2表 商品別売上高

商 品 別	売上高(千円)	構成比(%)	対前年増減(-)率 (%) ※
<b>総 額</b>	<b>371,561,459</b>	<b>100.0</b>	<b>-1.6 ( -3.0)</b>
紳士服・洋品	20,775,784	5.6	-15.6 ( -16.7)
婦人服・洋品	64,393,045	17.3	-6.3 ( -7.8)
子供服・洋品	6,063,021	1.6	-20.5 ( -21.9)
その他衣料品	6,486,217	1.7	-13.1 ( -14.4)
<b>衣 料 品</b>	<b>97,718,067</b>	<b>26.3</b>	<b>-9.8 ( -11.3)</b>
<b>身のまわり品</b>	<b>50,389,948</b>	<b>13.6</b>	<b>0.6 ( -0.6)</b>
化粧品	28,463,947	7.7	-7.5 ( -8.4)
美術・宝飾・貴金属	29,610,356	8.0	25.8 ( 24.8)
その他雑貨	11,070,369	3.0	-10.8 ( -13.0)
<b>雑 貨</b>	<b>69,144,672</b>	<b>18.6</b>	<b>3.7 ( 2.4)</b>
家 具	3,703,051	1.0	6.4 ( 4.4)
家 電	1,154,566	0.3	16.6 ( 16.5)
その他家庭用品	9,714,724	2.6	-6.3 ( -7.9)
<b>家 庭 用 品</b>	<b>14,572,341</b>	<b>3.9</b>	<b>-1.8 ( -3.4)</b>
生 鮮 食 品	23,313,516	6.3	-3.0 ( -4.5)
菓 子	30,848,808	8.3	7.3 ( 5.5)
惣 菜	25,578,954	6.9	7.0 ( 5.9)
その他食料品	40,940,090	11.0	2.0 ( 0.6)
<b>食 料 品</b>	<b>120,681,368</b>	<b>32.5</b>	<b>3.3 ( 1.9)</b>
食 堂 喫 茶	5,946,081	1.6	-6.7 ( -8.0)
サ ー ビ ス	3,398,594	0.9	2.8 ( 1.1)
<b>そ の 他</b>	<b>9,710,388</b>	<b>2.6</b>	<b>-12.6 ( -13.0)</b>
<b>商 品 券</b>	<b>12,199,003</b>	<b>3.3</b>	<b>-8.0 ( -8.8)</b>

注) 構成比は計算処理上必ずしも100%にはなりません。商品券は総額に含まれません。また、商品券の構成比は、総額に対する比率です。本統計には消費税は含まれておりません。

## Ⅱ. 地区別の動き

- |                  |                          |
|------------------|--------------------------|
| 1. 10都市売上動向      | 0.4% (店舗数調整後/4か月連続プラス)   |
| 2. 10都市以外の地区売上動向 | -6.5% (店舗数調整後/4か月ぶりマイナス) |

### 【地区別売上前年比の寄与度とトレンド】

地区	売上前年比 (増減率)	寄与度	トレンド
<b>10都市</b>	<b>0.4</b>	<b>0.3</b>	<b>4か月連続プラス</b>
札幌	-14.3	-0.4	4か月ぶりマイナス
仙台	-3.1	-0.0	4か月ぶりマイナス
東京	3.7	1.0	4か月連続プラス
横浜	-2.4	-0.2	4か月ぶりマイナス
名古屋	-6.8	-0.4	4か月ぶりマイナス
京都	1.7	0.1	4か月連続プラス
大阪	3.7	0.5	2か月ぶりプラス
神戸	0.5	0.0	4か月連続プラス
広島	-13.9	-0.3	4か月ぶりマイナス
福岡	0.3	0.0	4か月連続プラス
<b>10都市以外の地区</b>	<b>-6.5</b>	<b>-1.9</b>	<b>4か月ぶりマイナス</b>
北海道	-23.3	-0.1	4か月ぶりマイナス*
東北	-6.8	-0.1	4か月ぶりマイナス*
関東	-5.8	-0.8	4か月ぶりマイナス
中部	-2.8	-0.1	4か月ぶりマイナス
近畿	-6.0	-0.2	4か月ぶりマイナス
中国	-12.0	-0.3	4か月ぶりマイナス*
四国	-3.8	-0.1	4か月ぶりマイナス
九州	-8.2	-0.4	4か月ぶりマイナス*

(注) 北海道、東北、中国、九州については、2006年1月からそれぞれ札幌、仙台、広島、福岡を10都市に移行した。(2005年までは6大都市)

### Ⅲ. 商品別の動き

主要5品目は、身のまわり品、雑貨、食料品が4か月連続プラスとなったが、衣料品が4か月ぶり、家庭用品が5か月ぶりにマイナスとなった。その他の品目は、家電が7か月連続、美術・宝飾・貴金属が5か月連続のプラスとなった。

#### 【商品別売上前年比の寄与度とトレンド】

商品別	売上前年比 (増減率)	寄与度	トレンド
<b>総額</b>	<b>-1.6</b>	<b>-</b>	<b>4か月ぶりマイナス</b>
紳士服・洋品	-15.6	-1.0	4か月ぶりマイナス
婦人服・洋品	-6.3	-1.1	4か月ぶりマイナス
子供服・洋品	-20.5	-0.4	4か月ぶりマイナス
その他衣料品	-13.1	-0.3	4か月ぶりマイナス
<b>衣料品</b>	<b>-9.8</b>	<b>-2.8</b>	<b>4か月ぶりマイナス</b>
<b>身のまわり品</b>	<b>0.6</b>	<b>0.1</b>	<b>4か月連続プラス</b>
化粧品	-7.5	-0.6	4か月ぶりマイナス*
美術・宝飾・貴金属	25.8	1.6	5か月連続プラス*
その他雑貨	-10.8	-0.4	4か月ぶりマイナス*
<b>雑貨</b>	<b>3.7</b>	<b>0.6</b>	<b>4か月連続プラス</b>
家具	6.4	0.1	4か月連続プラス
家電	16.6	0.0	7か月連続プラス
その他家庭用品	-6.3	-0.2	5か月ぶりマイナス
<b>家庭用品</b>	<b>-1.8</b>	<b>-0.1</b>	<b>5か月ぶりマイナス</b>
生鮮食品	-3.0	-0.2	4か月ぶりマイナス*
菓子	7.3	0.6	4か月連続プラス*
惣菜	7.0	0.4	4か月連続プラス*
その他食料品	2.0	0.2	4か月連続プラス*
<b>食料品</b>	<b>3.3</b>	<b>1.0</b>	<b>4か月連続プラス</b>
<b>食堂喫茶</b>	<b>-6.7</b>	<b>-0.1</b>	<b>4か月ぶりマイナス</b>
<b>サービス</b>	<b>2.8</b>	<b>0.0</b>	<b>4か月連続プラス</b>
<b>その他</b>	<b>-12.6</b>	<b>-0.4</b>	<b>2か月連続マイナス</b>
<b>商品券</b>	<b>-8.0</b>	<b>-0.3</b>	<b>4か月ぶりマイナス</b>

(注) 化粧品、美術・宝飾・貴金属、その他雑貨、生鮮食品、菓子、惣菜、その他食料品については2006年1月から細分化した。

お問い合わせは、日本百貨店協会 橘・長柴 まで  
TEL 03-3272-1666 ホームページアドレス <http://www.depart.or.jp>